第14講

展望の構想の方法

知をもとに仮説を立てる
【アブダクション・リトロダクション】

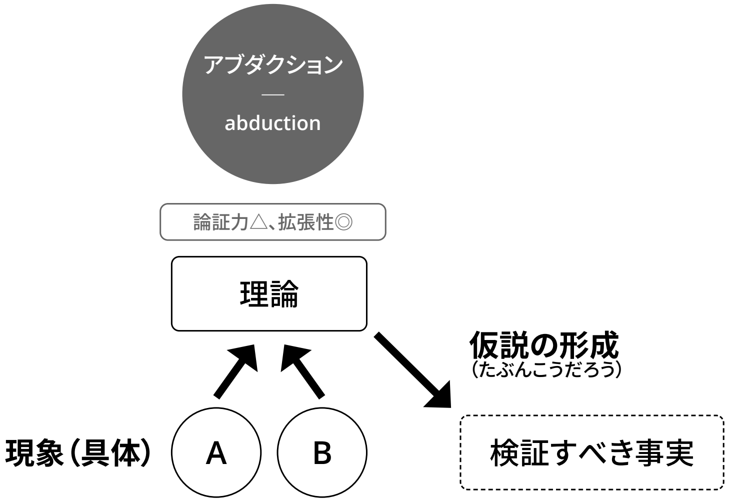
チャプター1

レクチャー

ポイント

　これまで起こった事柄・現象を観察して得られた理論をもとに、仮説を立てる思考の方法を（　　　　　　　　　　）という。
　自分の意見と理由は過去起こった事実・現象をもとにつくられたものだから、それをもとに「たぶんこうすればよくなる」と（　　　　　　　　　　）を立てられる。
　（　　　　　　　　　　）で得られた仮説に正当性があるかどうかは、検証してみないとわからない。

○ アブダクション（リトロダクション）



生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

問題およびヒント

問題を見てみよう

　下の言葉は現代社会の諸問題に関するキーワードです。これらの言葉から3語を適切に使用して、社会の問題について600字以内で論じてください。また、使用した3語を下の枠に書いてください（4語以上を使用しても減点にはなりません）。

依存　外国人労働者　格差社会　家族　虐待　教育
原子力発電　再生可能エネルギー　終身雇用　少子高齢化
正義　生態系　聖地巡礼　生物多様性　多文化社会
地球環境　長時間労働　ツーリズム　ひきこもり
非正規雇用　平等　ボランティア　まちづくり

（京都女子大学　現代社会学部　現代社会学科　現代社会専攻　AO　2018）

生徒メモ欄

教員記入欄

解答案をつくってみよう

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

答案例①

　近年、家族の介護や幼い兄弟の育児を行う未成年介護者「ヤングケアラー」の存在が問題視されるようになった。真面目な未成年者が家族を思ってケアに携わることが、結果的に未成年者本人の勉強や生活に悪影響をもたらしているのは大きな問題だと思う。

　ヤングケアラーが生まれる背景は家庭によって異なるが、主には家族構成や経済的な問題が挙げられるだろう。低所得の家庭は親が時間を問わず働く必要があり、また金銭的負担から要介護者を施設に入所させることができず、子どもに介護を依存せざるをえないという例もある。また、家族の問題は家族で解決するべき」という考え方が日本に根強くあることから、家族だけで問題を抱えて、外の人に助けを求めていないで困っている場合もあるだろう。「大切な家族の世話をするのは当たり前のことだ」という意識を、ヤングケアラー自身も有している状況が考えられる。

　日本では、児童福祉法で、児童も一人の人間として尊重され平等に権利を有することを保障されている。全ての子どもの不平等を無くすために、まずはヤングケアラーという存在についてを、問題として皆が知る必要があるだろう。「家のお手伝い」の域を越えて、介護や育児の働き手として子どもに依存しているのは歪んだ家族のあり方であるということを社会で共有すること、そして当事者である子どもたちが、周りの大人に助けを求められる環境づくりを行うことが重要だ。

（597字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見（主張）	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

答案例②

　現代日本は少子高齢化が進み、将来的な労働人口減少が問題となっている。そのためＡＩロボットの検討や、外国人労働者の雇用が行われているが、労働人口の減少を解決するにあたって、代わりの労働力をただ増やすという考えには不足があるのではないだろうか。

　外国人労働者の待遇については以前から長時間労働や低賃金、賃金未払いなどが問題として指摘されている。しかし、このような労働環境問題は外国人労働者だけではなく、日本人労働者も該当していて、企業全体として改善していくべき課題である。ブラック企業という言葉もあるが、仕事が無いため不満を訴えられずに勤め続けている人も少なくないだろう。雇用側が非正規雇用者の足元を見ているという悪循環とも言える。

　日本国憲法は「健康で文化的な最低限度の生活」を保障しているため、労働基準法による週に４０時間の勤務で、理論上は生活に困ることはないことになっている。しかし、２０１９年度の国民生活基礎調査で全世帯の過半数は生活が苦しいと回答していることから、正しい賃金が支払われていない可能性があるということが推測され、適切でないことを示していると考える。日本に来ても満足な仕事に就けない事は国際社会としても問題であり、誰もが安心して生活できるだけの賃金と労働環境を提供することが日本全体の課題と言える。そのためには企業体制や税金体制を改革していく必要があると考える。

(594字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見（主張）	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由（根拠）	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄